

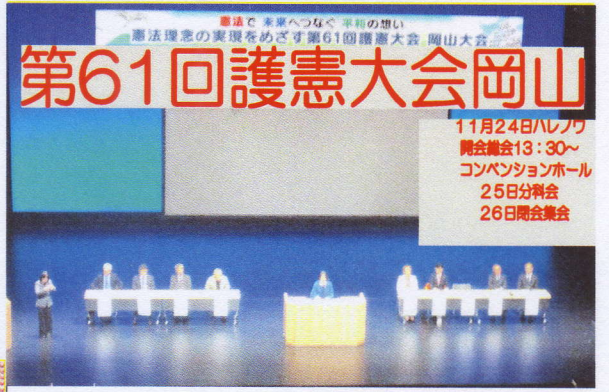


社民党副党首

大椿ゆうこ参議院議員来岡

12月6日(金) 17:00~17:30 街宣 駅東・マツキヨ前 18:00~19:30 市民交流会 市勤労者福祉センター 12月7日(土) 10:00~11:30 国政報告会 高梁市総合文化会館 12:30~ 街宣 天満屋前・イズミ前

第61回護憲大会(岡山)が24日から26日の3日間開催され、地元岡山を始め全国から約1千3百名が参加する。24日、オープニングで岡山の夏祭り「うらじや」が歓迎、大きな拍手を受ける。開会総会は、主催者代表、地元実行委員会、来賓代表



11/24護憲大会開会集会で来賓あいさつする大椿副党首

と続き、社民党から大椿副党首が「自国のことに専念して他国を無視してはならない」との憲法前文を引き、日本でも働き生活する外国人の人権を無視、差別して平和の実現はできないのではないかと語った。大会テーマ「日本国憲法は日本のアイデンティティか」で3人のパネラーがディスカッション。①憲法に自衛隊を明

どつこい為政者の意に沿わない判決を出す「勇気ある裁判官」が続いていることを力強く指摘した。学習会は、その勇気ある元裁判長の一人・樋口弁護

「時の自民党の意向に沿った最高裁支配、上命下服の裁判所システム」が形づく

さよなら原発岡山(代表奥津巨・弁護士、県平和センター・原水禁岡山など)の第14回総会・学習会が11月10日、岡山市内で開催、50名余が参加。奥津代表はあいさつで、NHK朝ドラ「虎に翼」に自らの経験を重ねながら「憲法の理念に忠実な実践」を目指

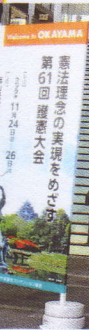
2自分のとんぼりの!

記すること医療、運輸など民間人の徴用や徴兵制も否定できなくなる。②沖縄、南西諸島のミサイル基地化を前に、住民の命を守るには民間人は島を守るしかない。これが積極的平和主義の現実。③お互いの顔が見える関係が相手を思い放つておけなくなる、対話や文化、考え方を共有することが大切、と発言。以下、25日5分科会など、26日閉会総会と続く。



11/10 あいさつする奥津代表

士を講師に「私が原発を止めた理由」と題して講演。氏は「原発問題はことあれば全てが無に帰することになり、最も重要なこと」国民のなかにも「難しい」「専門家も安全と言っている」のだから受け入れる先入観がある。しかし、「人間が管理し続けることが必要」「管理できなくなるとときの想像



今年も北の味を直送 「北海道・根室のながき昆布」 190g 1000円据え置き ※量目200g→190g Tel.086-242-5510 Fax.086-242-5512 ご注文はTel.FaxまたはE-mail 上記のとおり 好評取り扱い中!

党県連合活動日誌

- 11/5 市民と野党の打合せ(武本) 市民読者会 11/9 党県連合常任幹事会 11/10 さよなら原発岡山総会・学習会 11/14 金剛山歌劇団・倉敷公演 11/15 護憲大会県実行委(宮田) 11/16 岡山平和推進協運営委(武本) 11/23 市民と立憲野党・合同宣伝 マツキヨ前 11/24 護憲大会岡山・開会総会 ハレノワ 11/25 分科会 コンベンションホール 11/26 開会総会 11/27 党定例街宣・マツキヨ前



第4水曜日の11/27は毎月定例の党定例街宣。交替でマイクを持った(写真は宮田代表)

冬便りの中、街宣は続く 「設置基準を超える地震が来ないという予知はできない」ことを強調、「自分が知ったことを周りの2人に知らせる」行動が脱原発をすすめるうえで大切なことを確認し合った。(文責の

を絶する被害」が原発の本質で、「原発は低コスト」論は通用しない、と指摘。また、耐震性についても「設置基準を超える地震が来ないという予知はできない」ことを強調、「自分が知ったことを周りの2人に知らせる」行動が脱原発をすすめるうえで大切なことを確認し合った。(文責の

定例学習・読者会 「新報」読者会 12月12日(第2火) 17時 辰巳「時事問題懇話会」 12月27日(最終金) 中止 ※いずれも辰巳事務所

今年も残り1ヶ月。今年あんなに出来事が多すぎないかと、いろいろな議論が起きている。何より、この大震災と翌2日の羽田空港飛行機激突事故だ。さながら「何かを予感」させるかのよう。その後も全国で記録的大雨・水害の発生が続く。やがて復旧への気持ちと向き合い始めた能登に、またもや豪雨大災害が直撃した。さらに、物価高で国民生活は困窮し、仕組まれた「令和のコメ騒動も。国民を見ない政権の裏金隠し解散・総選挙の結果は、怒りの1票が30年ぶりの自公政権与党の過半数割れをもたらした。外に目を向ければウクライナ・ガザの民衆の苦悩は続き、これも予測不能なトランプ前アメリカ大統領の復権だ。生存の不安定性の増大が続くが、「今度こそ政治を私たちの手に取り戻すときだ。来たる25年、今、なにが起きるかはなく、何をしなければならぬかだ。(の

今年も残り1ヶ月。今年あんなに出来事が多すぎないかと、いろいろな議論が起きている。何より、この大震災と翌2日の羽田空港飛行機激突事故だ。さながら「何かを予感」させるかのよう。その後も全国で記録的大雨・水害の発生が続く。やがて復旧への気持ちと向き合い始めた能登に、またもや豪雨大災害が直撃した。さらに、物価高で国民生活は困窮し、仕組まれた「令和のコメ騒動も。国民を見ない政権の裏金隠し解散・総選挙の結果は、怒りの1票が30年ぶりの自公政権与党の過半数割れをもたらした。外に目を向ければウクライナ・ガザの民衆の苦悩は続き、これも予測不能なトランプ前アメリカ大統領の復権だ。生存の不安定性の増大が続くが、「今度こそ政治を私たちの手に取り戻すときだ。来たる25年、今、なにが起きるかはなく、何をしなければならぬかだ。(の

12/7(土) 13:30~ 第8回市民平和交流会 映画会「未来へのパト」 県立図書館2F情報シアター 無料 岡山市民平和交流会実行委員会

12/25(水) 17:30 社民党定例街宣 12/28(土) 16:00 市民と立憲野党合同宣伝 ※いずれも駅マツキヨ前

党事務所 年末年始 休み12月29日(日)~ 2025年1月3日(金) 来年こそいい年にしよう

社民党サポーター募集中 年会費1000円オンライン申し込み https://sdp.or.jp/sdp-supporter/

ご案内